

「保健医療科学」
第71巻 第5号 予告

特集：健康日本21（第二次）最終評価—都道府県等健康増進計画のためのメッセージ—（仮題）

健康日本21（第二次）最終評価結果の概要と地方自治体に伝えたいこと（仮題）	辻一郎
自治体等の健康日本21（第二次）取組状況調査（仮題）	寺井愛
健康日本21（第二次）最終評価の方法論（仮題）	横山徹爾
健康寿命の算定・評価と延伸可能性（仮題）	橋本修二
健康増進計画に関する科学院の研修（仮題）	石川みどり，横山徹爾

編 集 後 記

新型コロナウイルス感染症の流行は3年目を迎え、連日暑い日が続いた今年の夏、感染者数は過去最多を更新しました。行政関係者や保健医療・介護福祉従事者には困難が続く中、一方でWHO事務局長によるパンデミック終息が視野にとの発言や次の感染症危機の備えに関する報道を耳にするようにもなりました。本号の特集は、「新型コロナウイルス感染症の教訓—パンデミックにいかに対峙し何を学んだか—」です。新型コロナウイルス感染症に対する、政策から保健所、公衆衛生対策、検査体制、医療提供体制、予防接種等、各方面における、発生直後から今日までの対策・対応への足跡を辿ることが可能な内容となっています。約1000日に渡る中での数多くの取り組み、試行錯誤や課題、加えて今後に向けた教訓について、「現在」の状況が広く共有され、本号を手にとられた読者の皆様にとっても、振り返りと今後に向け考えを巡らす一助となることができれば幸いです。

（政策技術評価研究部 土井麻理子）